

フォーサイド グループ 2024年12月期第2四半期 決算説明資料

補足説明資料

2024年12月期第2四半期 連結業績ハイライト

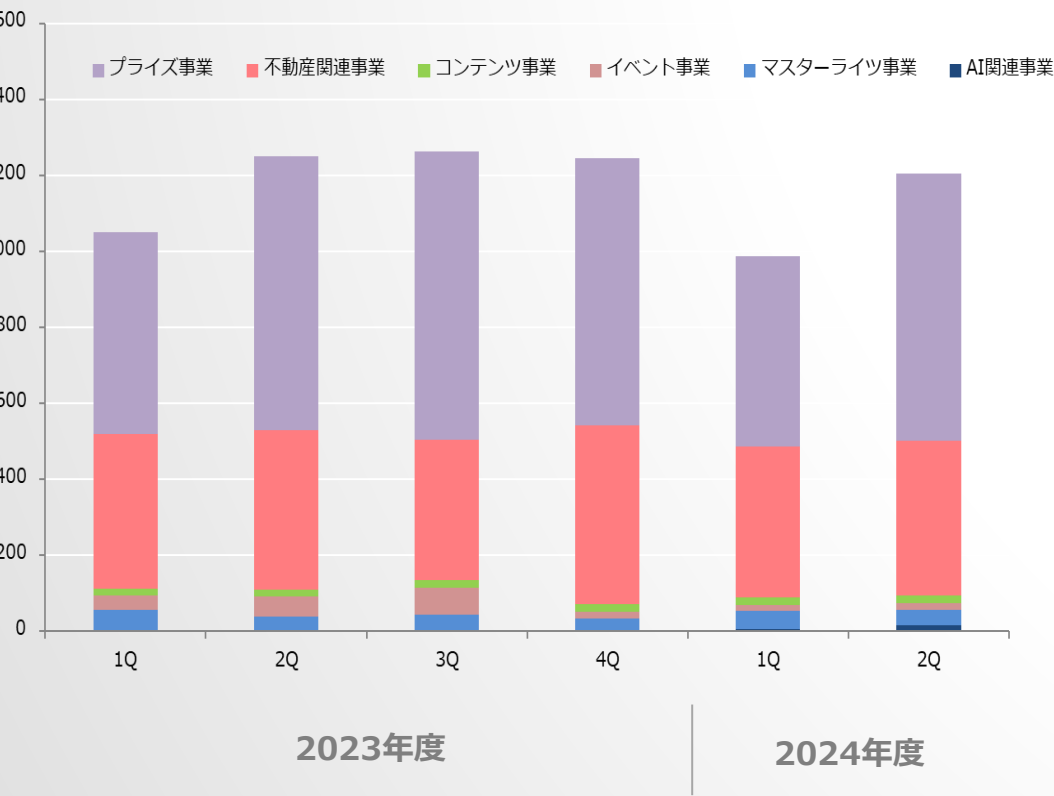
(単位：百万円)

	2023年度 第2四半期	2024年度 第2四半期	前年比	主な増減要因・傾向
営業収益	2,305	2,196	95.3%	<p>2024年12月期第2四半期の営業収益は、主力事業である「プライズ事業」「不動産関連事業」ともに前年同期の売上増加の反動減を補うまでには至らず、減収となった。一方で、AI関連事業を開始するなど、営業収益の拡大に努めたが、グループ全体の営業収益は前年比95.3%の2,196百万円となった。</p> <p>利益においては、マスターライセンス事業を行う子会社同士を合併し、業務効率の改善を図るなど、グループ全体で引き続きコスト削減に努めたが、営業収益の減少に加え、家賃保証業務の新規案件の増加に伴い支払手数料が増加したことから、販売管理費は前年比109.7%の1,003百万円となった。</p> <p>また、前年同期は関係会社株式の売却益25百万円を特別利益として計上したが、当期は特別利益の発生はなかった。</p> <p>これらの結果グループ全体の営業利益は△68百万円、経常利益は△60百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は△75百万円となった。</p>
売上総利益	968	935	96.5%	
販売管理費	914	1,003	109.7%	
営業利益	53	△68	—	
経常利益	49	△60	—	
親会社株主に帰属する 中間純利益	55	△75	—	

プライズ事業、不動産関連事業ともに減収、減益
グループ全体の営業利益、中間純利益も黒字にはいならず

営業収益の推移

(単位：百万円)



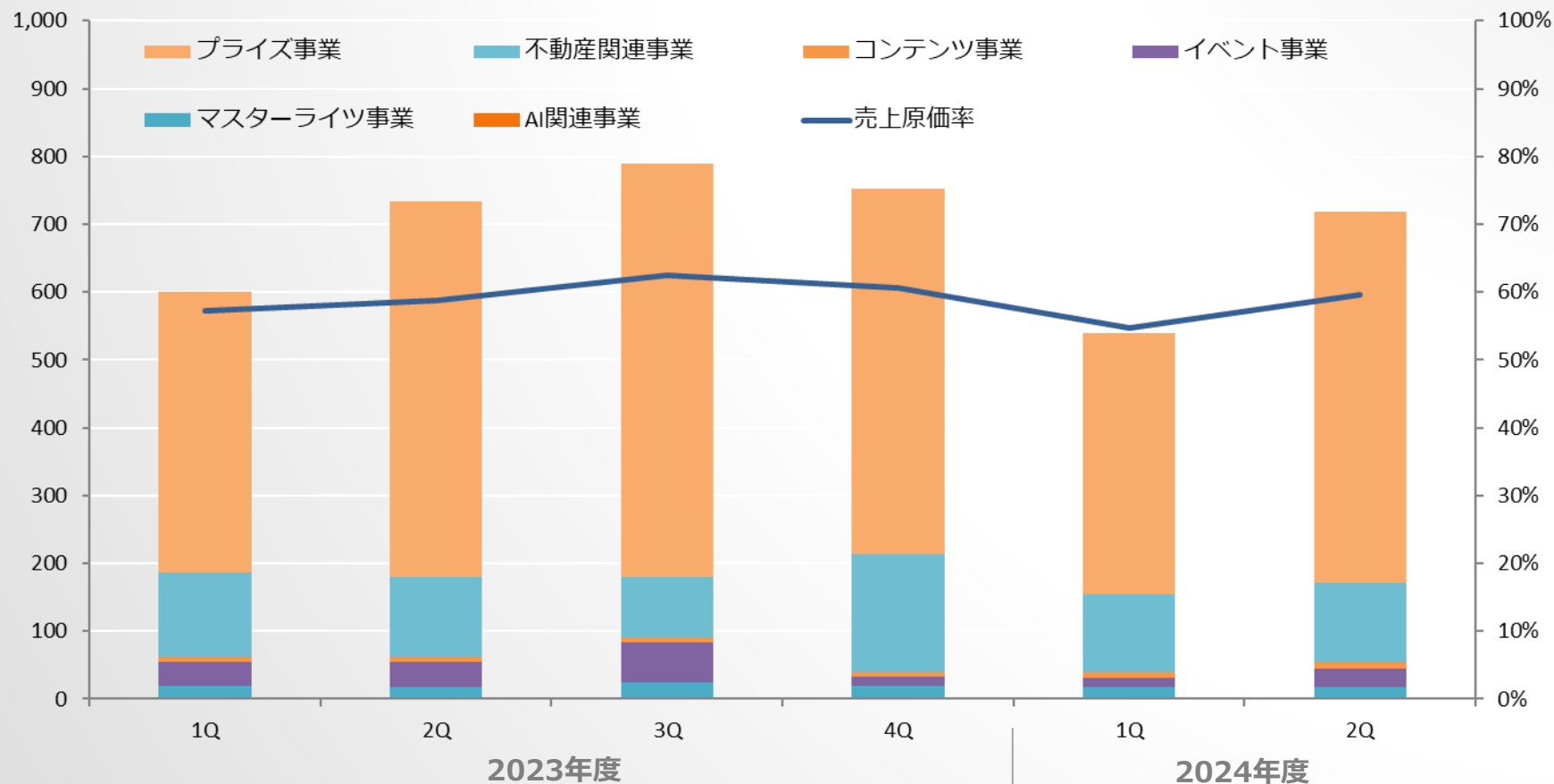
プライズ事業、不動産関連事業の減収が影響し、AI
関連事業で営業収益計上するも、グループ全体でも
営業収益は減収

セグメント別の主な増減要因

プライズ事業	プライズ事業では、キャラクターグッズや雑貨系商材を中心に受注件数が好調に推移したものの、前年同期の売上増加の反動減を補うまでには至らず、減収減益となった。
不動産関連事業	不動産関連事業では、引き続き、顧客に寄り添った丁寧な対応に努めた。その結果、家賃保証の新規獲得件数は前年同期を上回ったが、保証料収入は期間按分で計上される一方で、代理店手数料は支出確定時に費用計上していることや、営業強化に伴い滞納者が増加したことにより、貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、減収減益となった。
コンテンツ事業	コンテンツ事業では、電子書籍配信サイト「モビぶっく」において、引き続き広告宣伝費の抑制に努めながらも、費用対効果の高いプロモーション施策を継続し新規顧客の獲得に努めた。また、既存ユーザーに対しては、取扱い作品数の拡充やサイトのユーザビリティの向上を図ることで、顧客継続率を維持した結果、増収増益となった。
イベント事業	イベント事業では、前年同期に開催したような大型のイベントの開催が無かったことにより、減収減益となった。
マスターライセンス事業	「Cuugal」文化祭などイベント開催で大きな反響があったことや、「Popteen」で引き続き制作コストの削減を実施したこと、加えて、マスターライセンス事業を行う子会社同士を合併し、業務効率化を促進したことなどにより、損益は大幅に改善。その結果、減収となったものの増益となった。
AI関連事業	2024年2月より新たにAI関連事業を開始し、新規顧客の獲得に努めた。当第2四半期末時点においてはAIツール開発の受注には至っていないものの、一方で、GPUサーバーの販売代理による手数料収入を計上したことにより、営業収益およびセグメント利益を計上した。

原価の推移

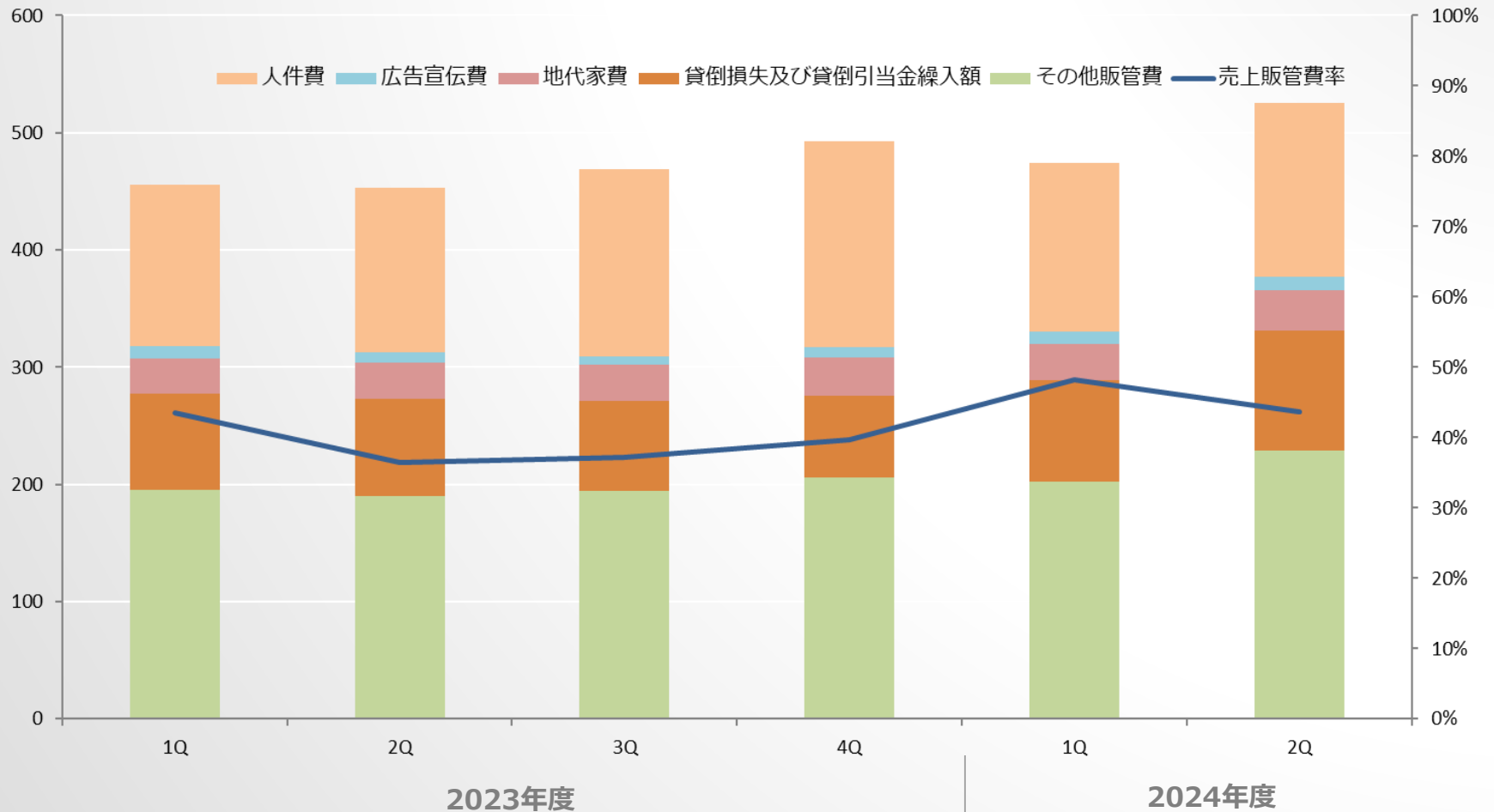
(単位：百万円)



売上高の減少により、売上連動原価も減少
全社でのコスト削減・見直しは継続

販売管理費の推移

(単位：百万円)



不動産関連事業における営業強化に伴う費用が増加

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年度 12月期	2024年度 第2四半期	増減金額	主な増減要因・傾向
資 産	4,448	4,568	120	資産については、現金及び預金の増加130百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少130百万円、収納代行未収金の増加128百万円等により、前連結会計年度末に比べ120百万円の増加となった。
負 債	2,873	3,062	189	負債については、未払金の増加120百万円、前受収益の増加105百万円等により、前連結会計年度末に比べ189百万円の増加となった。
純資産	1,575	1,506	△69	純資産については、親会社株主に帰属する中間純損失75百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ69百万円の減少となった。

(注) 2024年8月13日現在、発行済株式総数は39,647,704株
2024年7月23日～2024年8月13日で、新株予約権が19,600個（1,960,000株）行使され、資本金及び資本剰余金がそれぞれ202百万円増加

中間純損失の計上により、純資産は減少

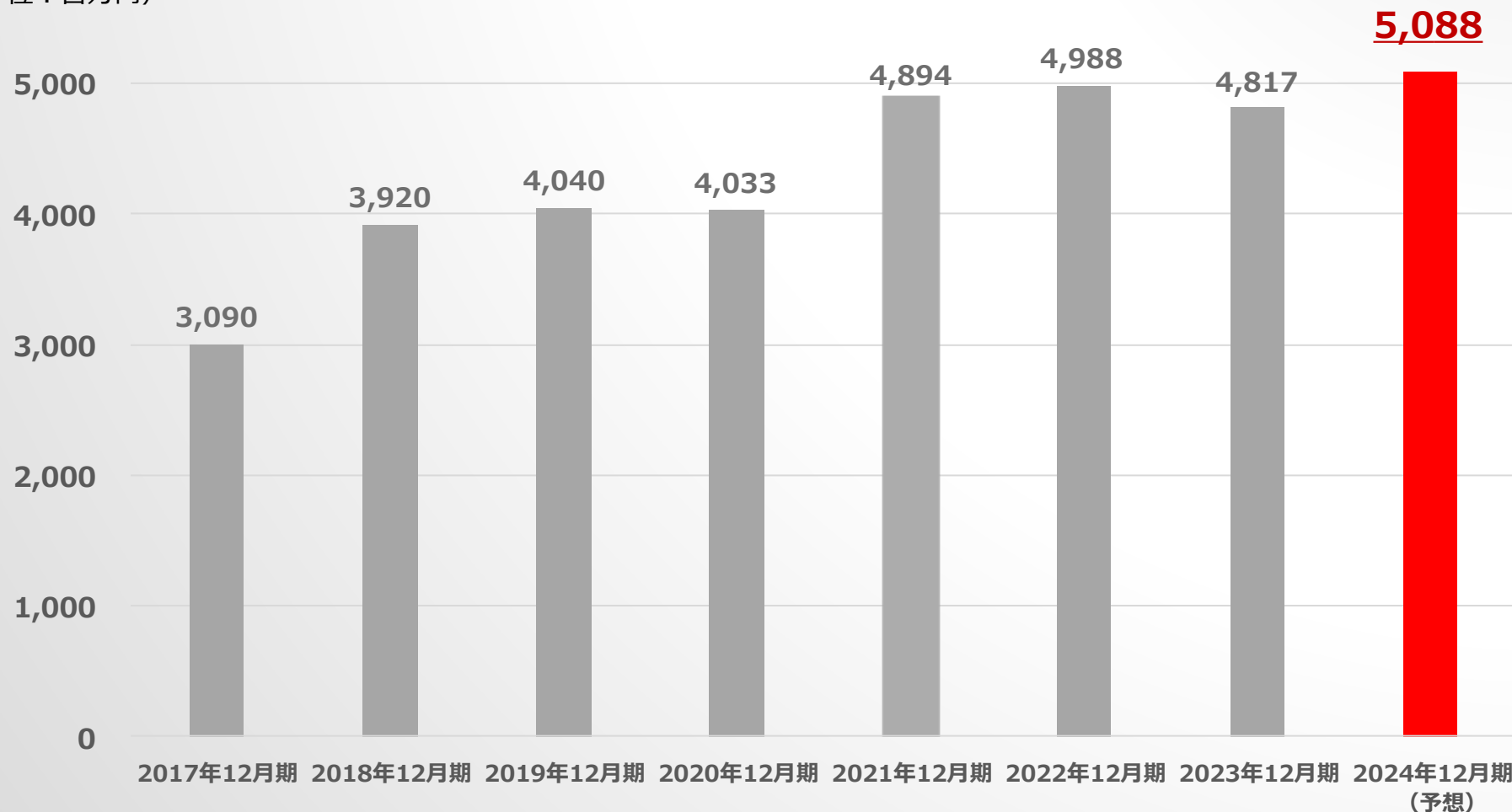


2024年12月期の業績見通し

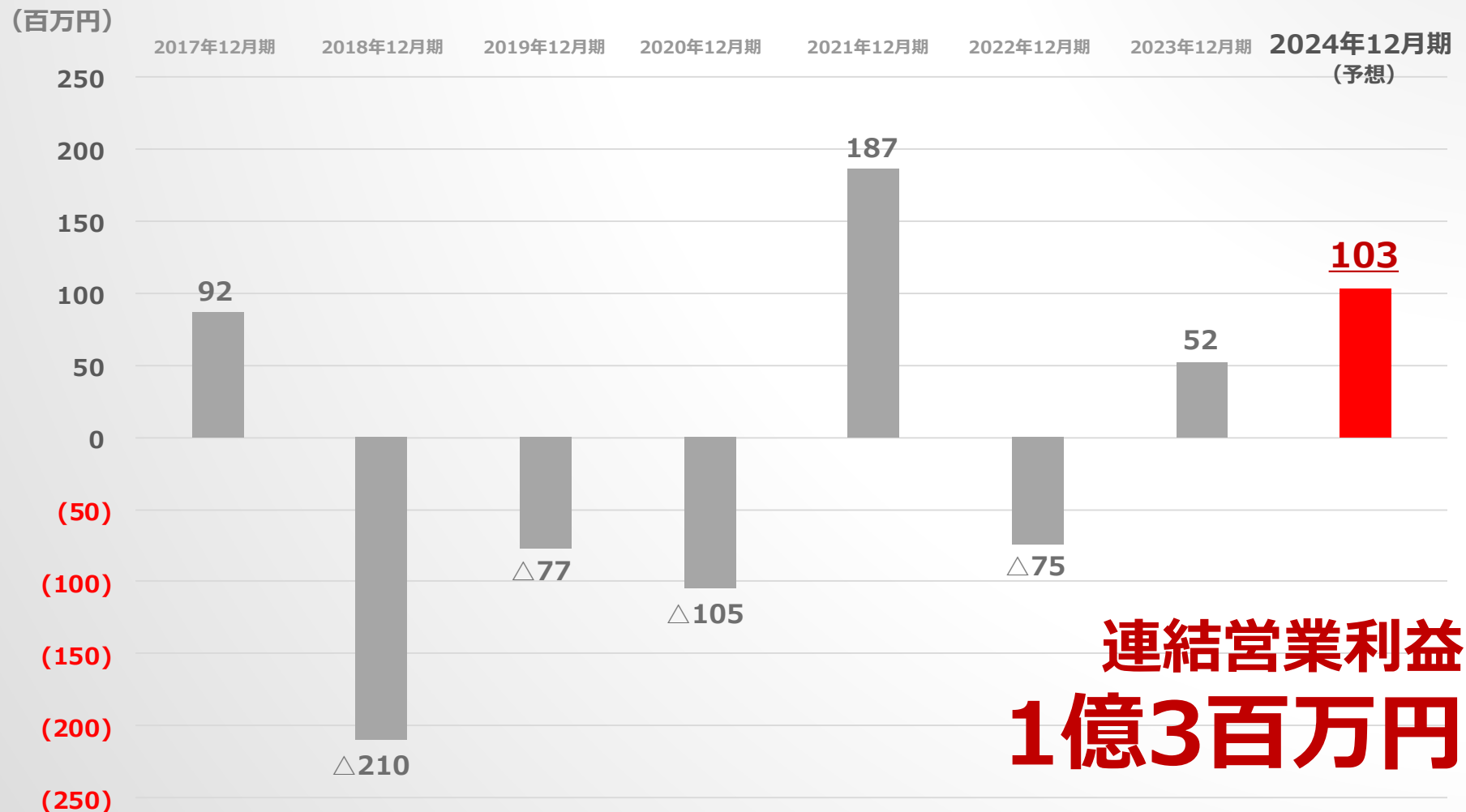
連結営業収益（通期予想）

連結営業収益50億88百万円
(前年比5.6%増)

(単位：百万円)




連結営業利益（通期予想）





参考資料（グループ概要）

フォーサイドグループ概要

会 社 名	株式会社フォーサイド（持株会社） 
所 在 地	〒103-0022 東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号 E.T.S.室町ビル8階
設 立 日	2000年3月31日（2002年10月10日 JASDAQ上場 証券コード2330）
資 本 金	212,262,600円（2024年8月14日現在）
経 営 陣	代表取締役 大島 正人 常務取締役 飯田 潔 取締役 根津 孝規 取締役 泉 信彦 取締役 河崎健一郎 取締役 荒木 聡 監査等委員 田崎 司郎 監査等委員 田辺 一男 監査等委員 瀬山 剛
顧 問	法律顧問 TMI総合法律事務所
事 業	株式等の保有を通じたグループ企業の統括及び管理等
主な子会社	<ul style="list-style-type: none">・(株)ブレイク：プライズゲーム用景品の企画・製作・販売/イベント企画・運営・日本賃貸住宅保証機構(株)：賃貸家賃保証/不動産仲介売買/賃貸管理事業・(株)ポップティーン：電子書籍配信事業/出版事業・(株)AI Tech Solutions：AIツール開発/ AI開発支援向けサーバー販売代理・(株)エム：一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業

（2024年8月14日現在）



—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイドに属します。